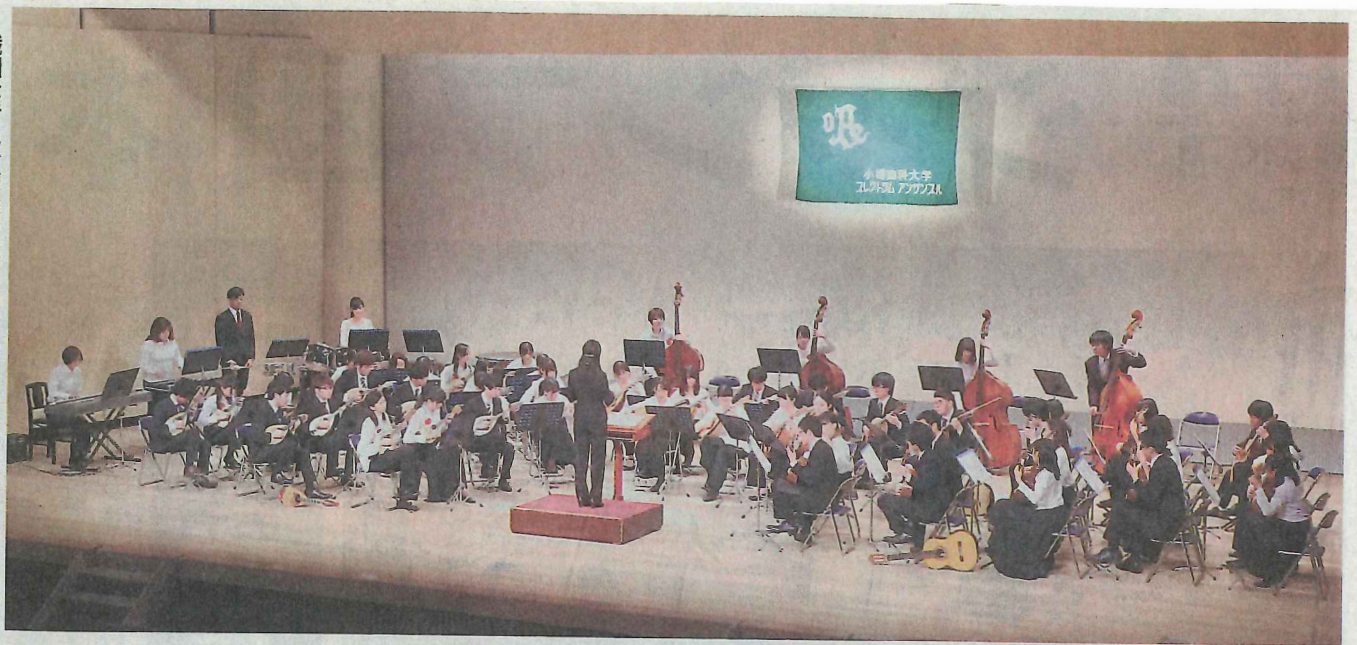


繊細な音色で聴衆を魅了した「プレクトラム・アンサンブル」の定期演奏会



優しい音色 ♪ 聴衆魅了

樽商大 マンドリンオーケストラ定演

小樽商大のマンドリンオーケストラ「プレクトラム・アンサンブル」の定期演奏会が26日、小樽市民会館で開かれた。約450人の聴衆がマンドリンやコントラバスなどが奏でる弦楽器の繊細な音色に聞き入っていた。
(徳留弥生)

定期演奏会は1969年から毎年開催。今回が49回目となり、団員51人が出演した。映画のテーマ曲「第三の男」など有名曲や、マンドリンのための曲「枯木の祈り」など計11曲を演奏した。

演奏の合間には、マンドリンオーケストラを構成する楽器を紹介した。マンドリンより大きいマンドラテノーレについて「人の声の音域に最も近い」などと特徴を解説した。

交響組曲「ハリーポッター」では、小樽市内の社会人吹奏楽団「小樽ウインドアンサンブル」の団員が加わり、パーカッションなどとの演奏も披露した。

市内の主婦佐藤英子さん(76)は「知っている曲が多く楽しめました。マンドリンの音色がとても優しかった」と話していた。

北海道新聞 29年11月25日（朝刊）

■ 上場体験談などをOBが講演

小樽商科大学は29日午後7時から、札幌市中央区北4西4の読売北海道ビル3階で、システム開発、エコモット（札幌）の入沢拓也社長（37）の講演会を開く。

入沢社長が修了した小樽商大のビジネススクール（OBS）時代の話や、起業から札幌証券取引所の新興企業向け市場アンビシャス上場までの体験談を講演する。

入場無料、先着順。定員150人。事前申し込みが必要。申し込みは27日までに、同大学院のウェブサイト（<http://www.otaru-uc.ac.jp/hnyul/graduate/g-setsume.html>）から。問い合わせは同大教務課入試室 ☎0134・27・5253へ。